

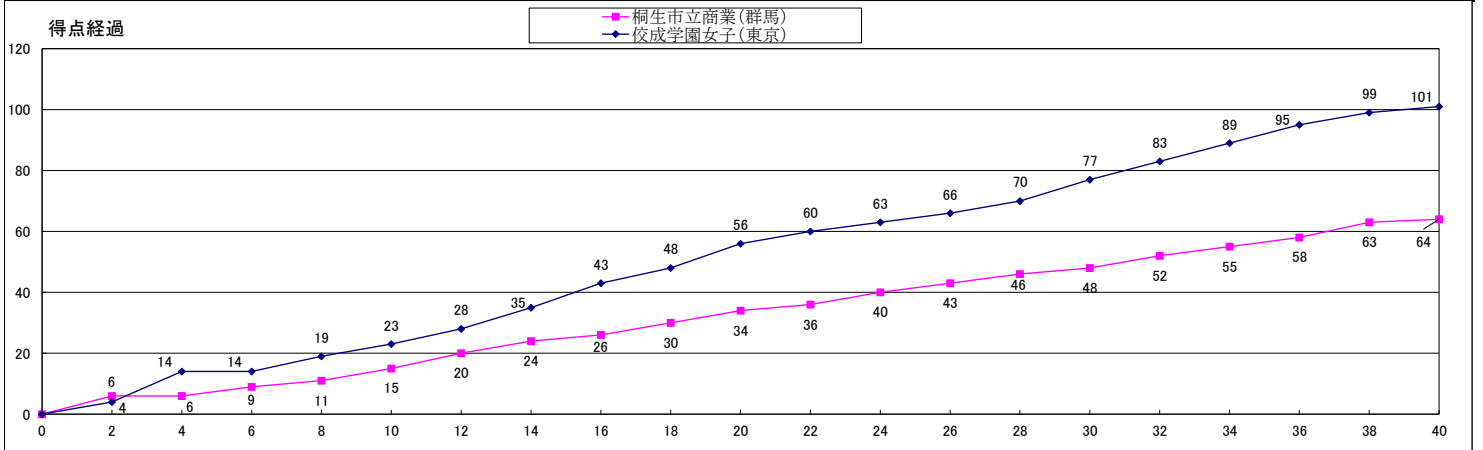
試合No.	M3	大会名	平成30年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 兼 第72回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会								
		期 日	平成30年 6月 10日(日)		会 場	カルッツかわさき					
女子決勝	主 審	大澤 尚樹			副 審	村上 恵美・大山 賢史					
	チーム名				1P	2P	3P	4P	延長	延長	合 計
	校成学園女子(東京)				23	33	21	24			101
	桐生市立商業(群馬)				15	19	14	16			64

校成学園女子(東京)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
網谷 萌夏(CAP)	* 4	9	1	3	33%	3	3	100%	0	0		1	0	0	1	0	1	2
益永 萌央	5	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	1	0	0	0
西山 郁乃	* 6	38	0	0		15	19	79%	8	9	89%	5	9	1	4	0	0	1
赤松 夏愛	* 7	25	3	10	30%	8	17	47%	0	1	0%	0	6	3	1	3	1	0
高野 祭	* 8	7	1	9	11%	2	5	40%	0	0		3	5	2	3	0	0	1
井出 仁菜	* 9	3	0	0		1	1	100%	1	2	50%	0	1	7	1	0	1	2
西堀 夏緒	10	7	0	0		3	7	43%	1	2	50%	2	2	0	0	0	1	0
栗田 圭子	11	4	0	0		2	4	50%	0	0		0	0	0	1	0	0	0
佐藤レイナ	12	4	0	0		2	4	50%	0	0		0	2	4	1	1	0	0
安西 涼雲	13	2	0	3	0%	1	2	50%	0	0		0	0	0	0	1	0	2
小森 安奈	14	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
清水 芽衣	15	0	0	0		0	1	0%	0	2	0%	1	0	0	0	0	0	0
橋本 亜磨	16	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
島田 真希	17	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
川端 真白	18	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
コーチ	結城 葉月																	
合計		101	5	25	20%	38	64	59%	10	16	63%	12	26	17	13	5	4	8

桐生市立商業(群馬)

氏 名	NO	得点	3P			2P			フリースロー			リバウンド		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	オフェンス	ディフェンス					
米山 萌(CAP)	* 4	8	0	3	0%	4	10	40%	0	0		1	1	1	1	0	1	0
山本 優華	5	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
山上 紗夜	6	0	0	0		0	2	0%	0	0		0	2	0	0	0	1	1
下山 舞	* 7	8	1	1	100%	2	8	25%	1	4	25%	3	1	2	0	2	0	4
長尾 ジェウリアーナ	* 8	6	0	2	0%	3	5	60%	0	0		0	2	8	0	0	5	1
渡辺 由依	* 9	11	3	10	30%	1	5	20%	0	0		0	2	0	0	0	1	1
亀山 遥加	10																	
片野 日佳梨	11																	
清水 りく	12																	
滝沢 綾乃	13																	
長尾 クリスティーン	14	10	1	1	100%	3	7	43%	1	3	33%	0	2	3	0	1	4	4
武田 未季	* 15	19	2	3	67%	6	9	67%	1	1	100%	2	4	0	2	0	0	5
菊池 花香	16																	
鈴木 えみり	17	0	0	1	0%	0	2	0%	0	0		0	0	1	0	1	0	0
坂井 千夏	18	2	0	0		1	4	25%	0	2	0%	0	0	0	0	0	1	3
コーチ	西條 佑治																	
合計		64	7	21	33%	20	52	38%	3	10	30%	6	14	15	3	4	13	19



戦評

1P 校成は1-3-1ゾーン、桐生商はマンツーマンディフェンスでスタート。先制は桐生商#9の3PTS。しかし、校成はゾーンからデンゴよいオフェンスで#7の3PTS、#4の速攻でリードする。その後もディフェンスから速攻や#6の1on1で得点を重ねた校成が23-15とリードして第1P終了。

2P このピリオドは出だしから両チーム、点の取り合いとなる。校成#6や#8が決めれば、桐生商は#8や#7が決め、校成のリードは広がらない。残り5分すぎ、桐生商のシュートが落ち始める間に校成は確実にシュートを決めてさらに点差を広げる。校成は#8のドライブインなどで抵抗するが得点に結びつかず校成にリードを広げられ、56-34で前半を終了した。

3P 前半に大きくリードを許した桐生商は校成の勢いを止めて点差を縮めたく#8、#14が果敢に攻めていく。しかし、攻守にわたって手を緩めない校成の前に点差を縮められない。終始、ミス誘って確実に得点に結びつけた校成が77-48とさらにリードを広げた。

4P 校成の勢いは止まらない。スティールから速攻にドライブイン、外角のシュートを確実に決めていく。対する桐生商も疲れは見えるもの食いがろうとするが、応援団の大声援を背に準決勝を勝ち抜いた校成が決勝でも勢いそのままにBブロック初優勝を手中にした。大声援の期待に応えた校成の戦いと、最後まで諦めずに戦い抜いた桐生商業の健闘を讃えたい。